

学校教育目標	笑顔かがやく きれいな学校
目指す学校像	よく学び みんな仲良く よく遊び 認め、高め合う
重点目標	1 子どもたちの主体的・対話的で深い学びで学習が好きになる授業改善 2 子どもたちが安心して相談できる人間関係づくり 3 子どもたちの地域社会への愛着を育む教育活動 4 子どもたちの豊かな心を育む潤いのある教育環境整備 5 教職員が「働きがいや」と「働きやすさ」を感じる職場環境整備

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

学校自己評価							学校運営協議会による評価		
年度目標				年度評価			実施日令和8年2月25日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	【学びの質の向上に関する取組】 (現状) ○R7の6年生の全国学テにおいて、国語・算数は全国や市の平均より高く良好である。 ○市学調で、現5年は「学習を見直し次につなげる」が市の平均と比べて5ポイント高い。 (課題) ○市学調では、現4～6年は国・算の「勉強が好き」の割合が市の平均と比べて低い。 ○市学調で、現2～6年は「タブレットを活用した学び」が市の平均と比べて低い。 ○市学調で、現2～6年は「読書が好き」が市の平均と比べて低い。	・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 ・ICT環境を最大限に活用した学びの充実	1 中学年からの教科担任制の実施 2 教育データを利活用した単元構成や授業改善の実施 3 カリマネデザインマップを意識した指導と定期的な振り返りの実施 4 教職員による相互授業観察の実施 1 研修指定校3年目としての実践の積み上げ「火花」でない「炭火」の研修 2 スクールダッシュボードを日課表に位置付け、効果的な利活用の実施 3 ICTを活用し、主体的に課題や活動を選択し、学びを調整する授業づくりの実施	1 全国学テにおいて国語、算数が、R7の市平均以上を維持できたか。 2 学校評価児童アンケート「新たな学び」で肯定的回答が前年(88%)より向上。 3 市学調「問題解決学習」で肯定的回答が高学年市平均以上(R6:2/2学年) 1 タブレット(スレッドシートやSSDB)を活用した学習の振り返りと授業改善を全学年で実施 2 10/28 研究発表会での授業公開と研究のまとめの作成 3 SSDB おはようメーター利用を8割以上 4 学校評価児童アンケート「タブレット利用」で肯定的回答が前年(82%)より向上。					
2	【子どもの発達や心のサポートに関する取組】 (現状) ○sola るーむを開設し、毎月10数名の登録と、毎日数名の利用者がいる。 ○市学調で、現4・5年は「学校が楽しい」「相談できる」が市の平均と比べて低い。 ○学校評価の児童の肯定的回答が「教員の承認」91%「教員との相談」86%である。 (課題) ○R7年度いじめ認知数が103件(内継続が62件)、重大事態が2件で適切な対応が課題。 ○15日以上の方長が80名(内30日以上が36名)が多い。	・安全で安心できる快適な教育環境の整備 ・家庭や地域、関係機関と連携した組織的な対応	1 事故の未然防止や事故対応の研修を計画的及び随時実施 2 各主任や事務、用務等と協力して、校地内外の環境整備の実施 3 いじめ問題再調査委員会の答申を踏まえ、いじめ事案の適切な対応の実施 1 開校15年記念行事をPTAや地域と連携して実施 2 生徒指導等案件の確実な記録と報告 3 HP、ブログ、メール、スクリーン、懇談会等で学校の教育活動の発信 4 Sola るーむへの教職員とボランティア等の配置	1 学校評価教職員アンケート「施設設備」で肯定的回答が前年(97%)を維持。 2 各主任や事務、用務等と協力して、保護者地域と連携した通学路整備要望書の提出 3 学校評価児童アンケート「楽しく登校」で肯定的回答が前年(92%)より向上 1 心と生活のアンケートの設問3に該当する児童データを確認し、即日面談を実施 2 市学調で「楽しい学校」の肯定的回答が全学年市平均以上(R7:3/6学年)。 3 学校評価保護者アンケート「個性伸長」で、肯定的回答が前年(90%)より向上 4 スクールロイヤーによる研修の実施					
3	【地域とともにある学校づくりに関する取組】 (現状) ○小・中一体型の学校運営協議会で美化活動、挨拶運動を実施し、児童参加の熟議も行った。 ○学校運営協議会実施後にSSNを開催し連携を図った。 ○地域の方を招聘した授業や会食を実施した。 (課題) ○市学調で全学年「地域ボランティア参加」の肯定的回答が市平均より低い。	・学校運営協議会とSSN等との連携・協働 ・地域や関係諸機関と連携した教育活動の実施	1 学校運営協議会への児童の参加 2 学校・家庭・地域が連携した美化活動、挨拶運動の実施 3 PTA、地域行事の教職員への周知 4 アンケート機能を活用した声の集約 1 様々な関係機関(市教委、支援課、児相、民生児童委員、警察等)と連携 2 R9からの放課後子ども居場所事業(放課後みんなの広場)実施の準備 3 平林龍氏のコンサートの実施	1 学校評価保護者アンケート「家庭・地域と連携」で肯定的回答が前年(94%)より向上 2 地域美化活動の参加者が昨年(150名)以上 3 市学調で「地域ボランティア参加」の肯定的回答が全学年で市平均より向上。 1 給食試食会と地域交流会の3回の実施 2 地域のヒト、モノ、コトを活用した教育活動の実施 3 平林龍氏のコンサートに保護者の参加 4 みんなの広場の3者協議の実施					
4	【教育環境の整備に関する取組】 (現状) ○築14年の校舎に、用務員の業務努力やメンテナンスにより良好な教育環境を維持している。 ○学校教育目標「きれいな学校」の学校評価アンケートで児童・保護者・教職員の肯定的回答がどれも96%以上である。 (課題) ○児童の個性を生かし、学習意欲を向上させる施設の利用や植栽、掲示物の工夫が必要である。	・潤いのある落ち着いた教育環境の整備 ・学習意欲を高める教育環境の整備	1 業者による校舎内の廊下のワックスとトイレの洗浄の実施 2 毎週始めの校地内外の清掃の実施 3 正門等の校地入り口の花壇の整備 4 階段掃除での掃除機の導入 1 地域交流スペースの掲示の整備 2 学校農園等で地域の農家と連携した農業(栽培)体験の実施 3 各クラス共通の学習カードの利用 4 児童一人一人の活躍を表す教室掲示	1 学校評価保護者アンケート「施設整備安全」で肯定的回答が前年(97%)の維持 2 学校評価教員アンケート「施設整備安全」で肯定的回答が前年(97%)の維持 3 年間通じてワックス整備を実施 1 地域交流スペース内に活動内容を示す資料の作成・掲示 2 学年園等の活用と花壇整備の実施 3 学校評価保護者アンケートの「きれいな学校」で、肯定的評価(96%)の維持					
5	【教職員のキャリア形成に関する取組】 (現状) ○研修奨励として独自の研修履歴表の作成やそれを活用した中間面談を実施している。 ○教職員の同僚性が高く、学年での研修に意欲的である。 ○R7の夏季休業中の希望研修で受講希望者数29人、延べ参加者数63人で研修意識が高い。 (課題) ○R7の在校時間月80時間以上が一人1回、月平均は27.5時間(最大10月37時間)月45時間以上の人数は平均7.3人(最大10月18人) ○保護者や地域への教職員の働き方改革の周知	・教職員のキャリア段階に応じた資質・能力の向上 ・「働きやすさ」と「働きがい」を高める働き方改革の推進	1 学年メンター・メンティー制や指導者によるコーチング理論の周知と実践 2 研修意欲を高める独自研修履歴表の作成と中間面談の実施 3 管理職による授業観察とフィードバック、及び教室巡回の実施 1 年間行事や日課表等の見直し 2 産業界によるWell=Being研修の実施 3 生成AI等で業務の効率化の実施 4 テレワーク(在宅勤務)の奨励 5 「おたがいさま」「おかげさま」の周知 6 徴収金管理ツールの導入を準備	1 学校評価教員アンケートの「授業改善」で、肯定的評価(98%)の維持 2 管理職による毎日の教室巡回と、教員一人年2回以上の授業観察及びフィードバックの実施 3 当初面談等での研修奨励の実施 1 ストレスチェックの総合した健康リスクにおいて、昨年度(R7男性68、女性81)より減少 2 勤務に関する意識調査の負担や多忙感の肯定的回答を市より減(R7市より高値) 3 1箇月時間外在校等時間が45時間以内の教職員の割合を90%以上(R7:85.1%)					

